

定期報告（ウルグアイ内政・外交：2019年2月）

1 概要

【内政】

- 5日、与党拡大戦線（FA）の創立48周年記念式典の実施。
- 12日、ニン・ノボア外相が議会常設委員会にてベネズエラ情勢に関するウルグアイ政府の立場について説明した。
- 21日、議会常設委員会は、ベネズエラの政治経済情勢についての動議を採択した。
- 25日、ララニャガ上院議員は治安改善のための憲法改正案承認に向けた国民投票の実施を求める署名を提出した。
- 世論調査によると、6月30日に実施される大統領選挙候補者党内選挙は、FAはマルティネス・モンテビデオ県知事、国民党はラカジェ・ポウ上院議員、コロラド党はサンギネティ元大統領が首位となっている。

【外交】

- 6日、当地でベネズエラについてのモンテビデオ・メカニズム会合が実施された。
- 7日、当地でベネズエラについての国際コンタクトグループ会合が実施された。
- 13日、ウルグアイ・アルゼンチン首脳会談が実施された（於：大統領別邸、コロニア県）。
- 15日、リトアニア外務副大臣がウルグアイを訪問。
- 18日～21日、ニン・ノボア外相がアンゴラ、エチオピアを訪問。
- 25日、ニン・ノボア外相が国連人権理事会で演説を実施（於：寿府）。

2 本文

【内政】

1 与党拡大戦線（FA）の創立48周年記念式典

5日、モンテビデオにおいて、与党拡大戦線（FA）創立48周年記念集会が開催された。ミランダFA総裁は、冒頭の演説において、FA内の結束の重要性を協調した。コッセ前工業エネルギー鉱業大臣（大統領党内選挙候補者）もFAの結束の重要性を強調し、時代の変化に合わせ、FAを刷新していく必要性を指摘した。ベルガラ前中銀総裁（大統領党内選挙候補者）は、党内における議論のメカニズムを改善する必要性を強調した。マルティネス・モンテビデオ県知事（大統領党内選挙候補者）は、FA政権15年間の成果を強調し、

現状を非難する野党を批判した。アンドラデ建設労組（SUNCA）総書記長（大統領党内選挙候補者）は、野党を富裕層の味方だとして批判した。なお、全ての登壇者は、次期選挙に勝利し政権を維持するための運動の必要性について一致した。

2 議会常設委員会におけるニン・ノボア外相の説明

12日、ニン・ノボア外相が、議会常設委員会の求めに応じ、ベネズエラ情勢にかかるウルグアイ政府の立場について説明した。

3 議会常設委員会のベネズエラの政治経済情勢についての動議の採択

21日、議会常設委員会は、ベネズエラの政治経済情勢についての動議を採択した。同動議は、①ウルグアイ外務省への支持、②ベネズエラ人自身により協議、合意された平和的解決③外国によるあらゆる種類の軍事介入を拒絶、④平和と不干渉及び民族自決の原則に基づく国内事項への尊重、⑤ベネズエラへの経済封鎖の停止、⑥ベネズエラ憲法に基づいた民主的手段による紛争解決を求めるもの。

4 ララニャガ上院議員による憲法改正に向けた国民投票を求める署名の提出

25日、ララニャガ上院議員（国民党、大統領選挙党内選挙候補者）は、治安改善に関する条項を盛り込んだ憲法改正案承認に向けた国民投票実施を求める40万5千件を越える署名を議会及び選挙委員会に提出した。右は、同議員の展開する治安改善キャンペーン「不安なく暮らす（Vivir sin Miedo）」の一環として行われ、今回提出された署名のうち27万件が有効と見なされれば、10月の大統領選挙投票日に国民投票が行われる。

5 世論調査結果

6～13日、FACTUM社が次期大統領選挙に関する投票動向調査を実施した。

（1）政党支持率

与党拡大戦線（FA）38%、国民党30%、コロラド党16%、人々の党5%、独立党4%。

（2）大統領選挙候補者党内選挙（6月30日実施）の各候補者の支持率

ア 拡大戦線

①マルティネス・モンテビデオ県知事：51%

②コッセ前工業エネルギー鉱業大臣：31%

③アンドラデ建設労組（SUNCA）総書記長：11%、

④ベルガラ前中銀総裁：7%

イ 国民党

①ラカジェ・ポウ上院議員：59%

②ララニャガ上院議員：19%

③サルトリ農業ユニオン・グループ(UAG)元社長：13%

④アンティア・マルドナド県知事：6%

⑤アロンソ上院議員：4%

ウ コロラド党

①サンギネティ元大統領：59%

②タルビ（経済学者）候補：24%

【外交】

1 ベネズエラについてのモンテビデオ・メカニズム会合

6日、ウルグアイ外務省において、ウルグアイ、メキシコ、カリコム諸国が、ベネズエラ情勢に関する会合を行い①迅速な対話、②交渉、③合意、④履行の4つのフェーズから構成される「モンテビデオ・メカニズム」の発表を行った。ニン・ノボア・ウルグアイ外相、エブラルド・メキシコ外相、ハリス・セントクリストファー・ネイビス首相等カリコム諸国が出席した。

2 ベネズエラについての国際コンタクトグループ会合

7日、ベネズエラ情勢にかかる第1回国際コンタクトグループ会合が、ウルグアイ大統領府において開催された。同グループは、可能な限り早いタイムフレームで信頼できる選挙プロセスに必要な保証を確立すること及び国際人道支援原則に従って緊急援助の提供を可能にすることを目的とする共同声明を発出した。

同会合には、バスケス大統領、ニン・ノボア外相、モゲリーニEU上級委員、ボレル西外相、ヴァルストローム・スウェーデン外相、モアヴェロ・イタリア外相、サントス・シルバ・ポルトガル外相、エブラルド・メキシコ外相、パリ・ボリビア外相、バレンシアエクアドル外相、ペントウーラ・コスタリカ外相等が出席した。

3 ウルグアイ・アルゼンチン首脳会談

13日、バスケス大統領は、コロニア県にあるアンチョレーナ大統領別邸にて、マクリ大統領と会談し、両首脳は、ベネズエラ情勢について、信頼性ある国際社会の関与の下、自由かつ信用できる選挙の実施を伴う民主的解決を見いだすことを訴えた。また、メルコスールについては、その重要性に鑑み、地域

統合プロセス再活性化、また、域外諸国及びその他地域ブロックとの貿易協定前進のための方針及び様式の現状に則した見直しを推進することに合意した。

4 リトアニア外務副大臣の訪問（於：モンテビデオ）

15日、ベルガミノ外務次官は、ウルグアイ外務省において、スクセビチュウス・リトアニア外務副大臣と会談した。

5 ニン・ノボア外相のアンゴラ・エチオピア訪問

18日、ニン・ノボア外相は、アンゴラを訪問し、ロウレンソ大統領を表敬し、ウルグアイへ招待したいとのバスケス大統領の意向を伝達した。その後、アウグスト外相と会談し、査証協定、税関協力協定、高等教育における協定及び外交官学校間の協力にかかるMOUに署名した。また、ウルグアイ・アンゴラビジネスフォーラムにカランプラ・ウルグアイ21総裁と共に出席した。

19日、同外相は、バンドゥネン・アンゴラ商業大臣とともに、第1回ウルグアイ・アンゴラ二国間経済・科学・技術文化協力合同委員会に出席した。ニン・ノボア外相は、アンゴラとの南南協力等の深化への関心を表明した。

21日、同外相は、2013年に国交を締結して以来、外相として初めてエチオピアを訪問した。ウォックナー外相と会談し、農業分野における三角協力等について協議し、両外相は、政策協議を2年おきに開催することで合意した。その後、ニン・ノボア外相は、ゼウデ大統領を表敬し、在エチオピア・ウルグアイ大使館の開館式（実際開館したのは、2016年8月）に出席した。

6 ニン・ノボア外相の国連人権理事会での演説

25日、ニン・ノボア外相は、第40回国連人権理事会（於：寿府）において、演説を行った。寿府滞在中、同外相は、エスピノサ国連総会議長、バチエレ国連人権高等弁務官、アセベドWTO事務局長等とそれぞれ会談した。

【要人往来】

○往訪

- 18日、ニン・ノボア外相のアンゴラ訪問。
- 21日、ニン・ノボア外相のエチオピア訪問。
- 25日、ニン・ノボア外相のスイス・寿府訪問。

○来訪

- 13日、マクリ大統領のウルグアイ・コロニア県訪問